

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助演習Ⅳ Seminar of Social Work Ⅳ		2年	後期	木曜日・1時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習	選択 (社会福祉士国家試験受験資格取得必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
幡山久美子	非常勤講師室	木曜日 8:50~16:00		授業中に指示します
授業の概要 相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んだことをふまえて、総合的かつ包括的な援助について事例研究を通して考察していく。また地域福祉を展開するために必要な基盤整備と開発について検討していく。				
授業の到達目標 ①利用者主体の援助および利用者理解について事例研究を通して検討・考察することができるようにする。 ②地域福祉の展開に必要な技術を学び、地域住民および当事者の生活を支援する相談援助専門職としての自覚を身につけることができるようにする。 ③プレゼンテーションに際し、創意・工夫をできるようにする。				
授業の方法 実習で体験したことや日常生活の中での体験からテーマに沿ったグループディスカッション 相談援助場面を想定した実技指導 事例研究およびプレゼンテーション				
学習の成果 ①生活場面で利用者のエンパワメントを高める技法を身につけることができる。 ②利用者主体の援助のために相談援助の専門職としての課題を検討することができる。 ③理解したことを他者に伝える能力を養い、また相互交流によって多面的な理解も学ぶことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	地域福祉の展開と当事者学			
第3回目	DVD教材「退院支援、べてる式」の視聴			
第4回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」(9) つながりの再構成について考える			
第5回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」(10) つながりの再構成について考える			
第6回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」(11) つながりの再構成について考える			

第7回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」(12) 困難を抱えた人とどのようにかかわるかを考える		
第8回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」(13) 困難を抱えた人とどのようにかかわるかを考える		
第9回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」(14) 困難を抱えた人とどのようにかかわるかを考える		
第10回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」(15) 障害者家族の思いを知ること		
第11回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」(16) 対人援助者としての姿勢について		
第12回目	事例研究：べてるの家の「当事者研究」(17) 対人援助者としての姿勢について		
第13回目	「弱さの情報公開」について考える *レポート(14回目の授業時に提出する)		
第14回目	生活技能訓練		
第15回目	まとめ 当事者研究から学んだこと		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	グループディスカッションへの積極的な発言。他の人のプレゼンテーションに対する聴く態度と積極的な発言。
レポート		30%	課題に即した記述であること。自分自身に対する振り返りがなされていること。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容(態度含む)		40%	担当箇所責任を持つこと。内容を十分に理解していること。他の人にも伝わる声の大きさ、読みやすいレジユメの作成等々。
その他			
教科書と参考図書			
浦河べてるの家『べてるの家の「当事者研究」』 適宜資料を配布する。			
履修上の心得・ルール			
目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。 遅刻厳禁。居眠り・私語・携帯端末の不適切な使用について厳重に注意する。飲食禁止。			